

2021年8月12日

各位

会社名：株式会社 J B イレブン  
代表者名：代表取締役社長 新美 司  
(コード番号：3066 名証第二部)  
問合せ先：執行役員 黒田 博司  
電話番号：052-629-1100

### 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2021年5月12日に公表しました「中期経営計画公表の延期に関するお知らせ」のとおり、公表時期を延期していました中期経営計画(2021年4月～2024年3月)につきまして修正決定をいたしましたので、その概要をお知らせします。

#### (1) 策定の理由

新型コロナウイルス感染症が今後の社会、経済に及ぼす影響等は未だ不透明であり、当社グループの事業環境にもたらす不確定要素が完全に解消されない状況ではありますが、当社グループを運営していくにあたり、今後の経営計画を策定し、事業の継続性および成長性を明確にすることが重要と捉え、2024年3月期を最終年度とする3か年の中期経営計画を策定しました。

なお、当社グループは、事業環境の変化に迅速に対応するため、一年毎に計画を見直し、ローリングしていくことを方針としています。

#### (2) 中期経営計画の概要

当社グループは、「おいしさと楽しさを創造し、笑顔あふれる社会づくりに貢献するとともに、一人ひとりの成長と幸せを実現する」という企業理念に基づき、コロナ禍の状況変化に即時対応を図りつつ、中長期的観点では、引き続き、収益力の向上、規模の拡大、および財務体質の改善を図るため、内部体制の充実を伴った着実な成長を基本とし、以下の諸施策を推進します。

なお、当社グループは、来る2021年9月に会社設立40周年、同年12月に会社創業50周年の節目を迎えます。今般は、コロナ禍という大変難しい局面に遭遇をしていますが、変化に対応する知恵を絞り積極果敢に行動することで、企業価値向上に取り組みます。

#### (3) 基本戦略

##### 1. 理念を共有する組織パワーにより規模の拡大を図る

組織内への理念共有を一層深化させることで企業体質を強化し、労働環境整備を進める他、社員配分の積極拡大を図るとともに、ホールディング型経営により次世代経営人材の育成を進める。

##### 2. 事業領域の拡大および事業構造改革を推進

フランチャイズ事業および製造食材販売事業を積極拡大するとともに、新事業開発および新たなM&Aも視野に入れ、事業領域の拡大と収益構造の改革を推進し、利益体質の向上を図る。

##### 3. 直営ラーメン・中華事業のブランドポートフォリオ戦略による成長性の担保

主力である直営店でのラーメン・中華事業では、ブランドポートフォリオによる業態戦略を徹底し、差別化と戦略的な投資によって、成長性の下支えを図る。

##### 4. 着実なデジタルトランスフォーメーションの推進

DX（デジタルトランスフォーメーション）投資の推進により、顧客満足の上昇、および業務の効率化を推進する。

(4) 数値目標（連結）

	2021年3月実績	2022年3月計画	2023年3月計画	2024年3月計画
売上高	5,978百万円	6,606百万円	8,262百万円	9,490百万円
経常利益	△84百万円	△47百万円	184百万円	337百万円
経常利益率	△1.4%	△0.7%	2.2%	3.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△386百万円	132百万円	105百万円	231百万円

※ 実際の業績は、当社グループを取り巻く諸環境の変化や、当社グループが目指す事業領域の拡大等々、様々な要因により、本数値目標と異なる結果となる可能性があります。

以上